

しょうがいしゃ じりつせいかつじょうほう
障害者の自立生活情報

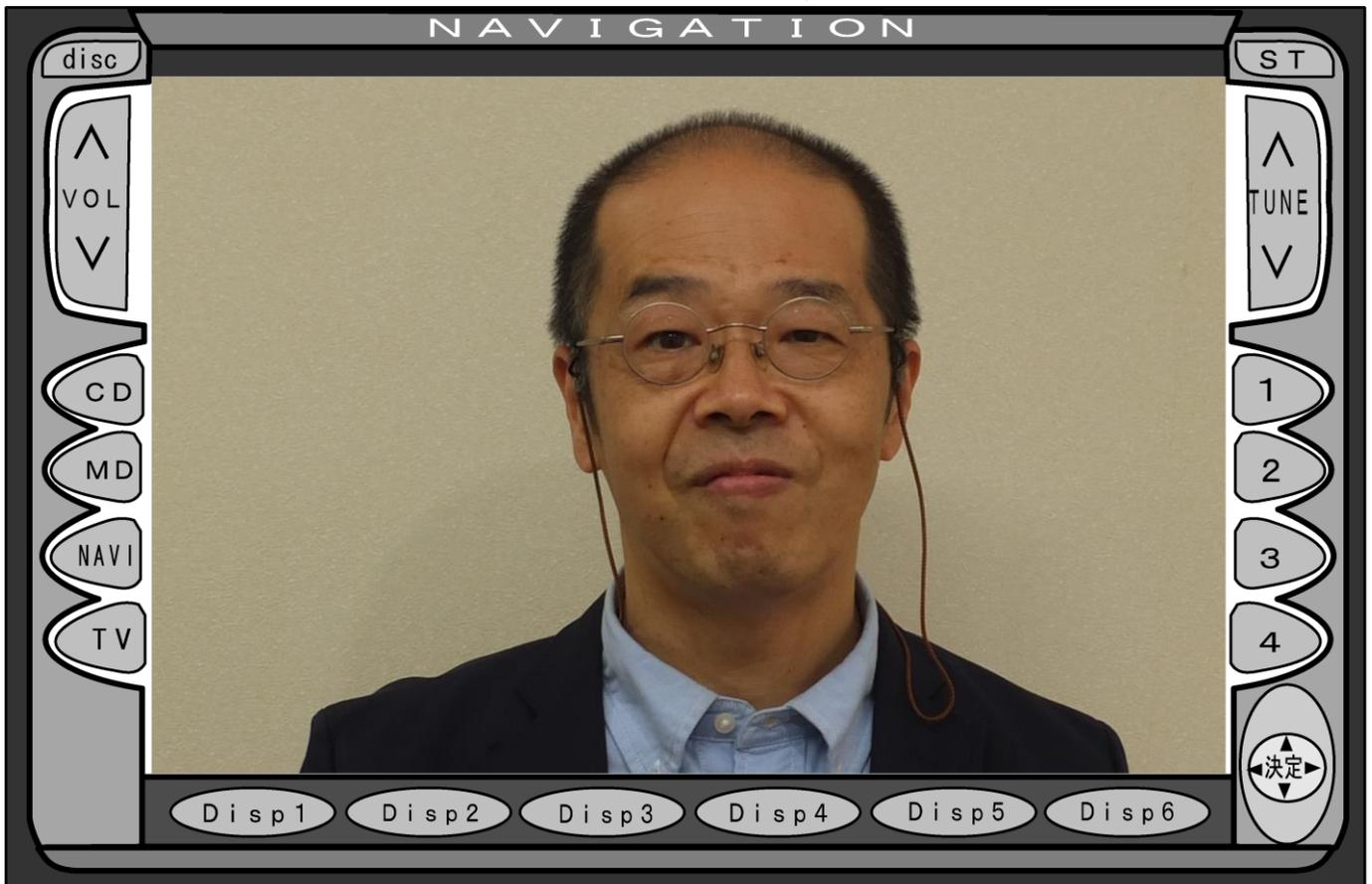
ナンバー
No. 76

(2024年9月号)



ナビゲーション

じりつ みちあんない
自立への道案内



こんかい せぶん しつびつ ごうだたかし
今回、sevenメッセージに執筆いただいた合田享史さんです。

もくじ

- 東住吉区事業所紹介 2
- ~Sevenメッセージ~ 6
- 無人駅調査 9
- おすすめのお店紹介します Part1、part2 11
- 平野工営所の人たちと歩道の段差体験 13
- 新しいセブンイレブンがオープンしました! 15
- 編集後記 16

東住吉区事業所紹介

今年度の機関誌ナビゲーションから新しいコーナーを始めることになりました。東住吉区の事業所（生活介護、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所など）へ取材させてもらい、いろんな方に事業所のことを知ってもらいたいと思って始めたコーナーです。手探りではありますが、読者のみなさんからも、こんな情報をもっと掲載してほしいなどあれば、教えてください。1回目は、大阪市立早川福祉会館のラウンジ事業と、NPO法人セルフ社（就労継続支援B型）を紹介します。

大阪市立早川福祉会館 基本情報

法人名	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会				
事業所名	大阪市立早川福祉会館				
事業種別	貸室事業・ラウンジ事業				
住所	〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺1-9-28				
連絡先	TEL 06-6622-0122	FAX 06-6622-0121			
ホームページ	http://www.fukspo.org/hayakawa/				
開所曜日	月～土曜日(祝日を除く)				
開所時間	9:00～21:30(貸室供用時間9:30～21:00)				
休日(お盆・年末年始)	日曜日・祝日・年末年始				
工賃(給与)					
送迎	送迎の有無	—	送迎範囲	—	
バリアフリー状況 (あるものに○)	くるま 車いすトイレ	かいだん 階段	エレベーター	だんさ 段差	
受け入れしている 障害種別			ねんれいそう 年齢層	—	だんじひひ 男女比
主に通われている 障害種別					
事業所の特色 (活動されている人数、 活動内容など)	<p>当館は、故早川徳次氏の寄付金をもとに昭和37年9月に開設し平成5年度に建て替えを行い、現在、貸室事業、点字図書室事業障がい者相談支援研修センター事業を実施している。</p> <p>ラウンジでは、平成22年から、当法人が指定管理者として貸室事業及び会館の維持管理を行っており、「障がい者の自立と社会参加を支援する場の提供」として、1階喫茶コーナーでラウンジ事業を実施している。</p> <p>当法人のワークセンター中授と連携し、実習生と指導員と当館職員(調理師を含む)各2名、計6名が従事している。</p> <p>実習生は4か月間で、食器洗い、盛付、配膳などの業務を順に経験ののち、施設に戻ります。</p> <p>ラウンジ「ほほえみ」は、貸室の利用団体の障がい者さんやボランティアさんだけでなく、近隣にお勤めの方やお住まいの高齢者さんに広くご利用いただいています。</p>				



おおさかしりつはわかわふくしかいかんがいかん
大阪市立早川福祉会館外観



さいがいじし びなんじし
災害時、避難所にもなります。
(開設については区役所で決定)



ティールームほほえみの営業時間
月曜日から金曜日AM9:30~PM3:30
食事はAM11:00~PM1:30
(ラストオーダーPM2:00)
土曜日(喫茶のみ)
AM9:30~PM2:00(ラストオーダーPM1:30)
※日・祝日、年末年始は閉館



ティールームほほえみは、会館を利用され
ている方をはじめ、近隣の会社の方など、
たくさん食事に来られていました、

大阪市立早川福祉会館の利用対象

市内在住・在勤の障害者及び障害者団体・サークル及びその他団体。ただし、社会福祉等を目的として実施する活動であること。

えぬびーおーほうじん しや きほんじょうほう
NPO法人セルフ社の基本情報

ほうじんめい 法人名	えぬびーおーほうじん しや NPO法人 セルフ社		
じぎょうしよめい 事業所名			
じぎょうしよべつ 事業種別	しゅうろうけいぞもえん びがたじぎょうしよ 就労継続支援B型事業所		
じゅうしよ 住所	おおさかし ひがしすみよしくきたたなべ ちようめ 〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺4丁目23-2		
れんらくさき 連絡先	TEL:06-6719-8212	FAX:06-6719-8213	
メールアドレス	selfprint@ybb.ne.jp		
たんどうしやめい 担当者名	りぢちよう みぞた まさお 理事長 溝田雅夫	とうじしや 当事者の にんずう 人数	にん 13人 スタッフの にんずう 人数
ホームページ	https://selfsha.net/wp/		
かいしようび 開所曜日	げつ きん 月～金		
かいしよじかん 開所時間	9:30～17:00		
きゅうじつ ぼん・ねんまつねんし 休日(お盆・年末年始)	ぼんやす がつ にち にち ねんまつねんし がつ にち がつ にち お盆休み8月13日～15日 年末年始12月29日～1月3日		
こうちん きゅうよ 工賃(給与)	つきへいきん えん げつきゅうやす ぶん きゅうりようで 月平均48,000円(月給)休んだ分のお給料は出ない。		
そうげい 送迎	そうげい うむ 送迎の有無	なし 無し	しょうらい そうげい かんが 将来は送迎も考えていきたい。
じようきよう バリアフリー状況 (あるものに○)	くるま 車いすトイレ	かいだん 階段	エレベーター だんさ 段差なし
う い 受け入れしている しょうがゆべつ 障害種別	しんたい ちてき せいしん ほんたつ 身体・知的・精神・発達	ねんれいそう 年齢層	さい 25歳～ さい 55歳 だんじよび 男女比 だんせい 男性7: じよせい 女性3
おも かよ 主に通われている しょうがいしよべつ 障害種別	じゅうど しんたいしよがいがい かた ちてき しょうがいがい かた 重度の身体障害の方や知的障害の方		
じぎょうしよ とくしよく 事業所の特色 かつどう にんずう (活動されている人数、 かつどうないよう 活動内容など)	ひがしすみよしく ねん おも いんさつ しごと ちてきしょうがいがい 東住吉区で57年やっている。主に印刷の仕事をしています。知的障害の ひと やさい いどうほんばい ひと おお いどう ほんばいさき いっぱんきぎょう 人はパンや野菜を移動販売する人も多いです。移動販売先は、一般企業にも い 行かせてもらっています。そのほかは、セルフ社の事務所の前でクッキーやパ ンなどの店頭販売をしています。 く ひと こぼ さいしよ でき あ まえ しょ 来る人は拒まず。でやっています。最初は、みんな出来ないのは当たり前。職 くいん こんぎつよ せつ でき 員は根気強く接して、みなさんが出来るようになるように考えていきます。 ちてきしょうがいがいしや かた でんしや かよ ひと けいさんでき 知的障害者の方で、電車で通っている人もいます。計算出来なかったけ れんしゅう つづ でき かた ど、練習を続けて出来るようになった方もいます。		



↑セルフ社の利用者さんたちです。

←店頭販売もされています。また、パンやラスクを食べたことが
あり美味しかったです。みなさんもぜひ食べてみてください。

↓印刷の仕事をしている様子→



NPO法人ちゅうぶにも毎週月曜日と金曜日にパン屋や野菜などを訪問販売に來られます。ちゅうぶの他にも、1週間で50件ぐらい訪問販売しているそうです(区役所や一般企業など)

せぶん 〜〜〜Seven × ムッセージ〜〜〜

【プロフィール】

ごうだ たかし だいひょう
合田 享史 まっすぐプランニング 代表

へんしゅうしゃ
・フリーランスのライター・編集者

じしゅしゅつばんざっし へんしゅう はっこうにん おおさかふるうじん
・自主出版雑誌『ともにまなぶ ともにいきる』編集・発行人、大阪府老人

れんごうかいきかんし おおさか きしゃ
クラブ連合会機関紙『ねんりんOSAKA』記者

せいしんしょうがい しんたいしょうがい つま りぐ おおさかふせいしんしょうがいしゃかぞくかいれんごうかいせいさくいいん
・精神障害と身体障害のある妻との2人暮らし 大阪府精神障害者家族会連合会政策委員



1. 今の仕事に携わる前はどんな活動をしていましたか？

フリーランスになる前は、大学を出てから15年ぐらい、広告制作会社の営業、大阪府立高校の非常勤講師、印刷会社の企画制作部門など、いろんな仕事を転々としていました。そのなかで特に心に残っているのが、定時制の工業高校で非常勤講師をしていたころの経験です。受け持っていた生徒の中に、テストの点数がどうしてもとれない子がいました。いま思えば、その子は知的障害があったのでしょうか。そのとき、何とかして点をとってもらおうと、テスト問題の中に特別問題として15点分の作文コーナーを設け、字がまちがっていても、意味が通じなかりょうが、その欄をすべて埋めさえすれば、15点はとれるようにしました。その子に障害があることは意識しないままに、「合理的配慮」を提供していたわけです。現在、私はライターとして、大阪で取り組まれてきた障害のある子どもない子ども「ともに学び、ともに育つ」教育の分野を取材し、障害のある生徒の高校進学を支援する活動にも関わっていますが、このときの経験が、いまにつながっていると思っています。

2. 今の仕事を始めるきっかけ

会社勤めをやめてフリーランスになったきっかけは、障害のある人たちの自立生活運動との出会いです。いまから20年ぐらい前、私は大手新聞社の関連会社に勤めながら、休みの日に当事者団体の大阪頸髄損傷者連絡会の活動にボランティアとして参加するようになりました。そこで衝撃を受けたのが、私と年齢の近い重度の障害のある当事者たちが、リスクを冒してでも自分の人生を生きたいと、親の庇護から離れて一人暮らしにチャレンジしようとする姿でした。その姿が当時の、待遇的には安定した職場だったけれど、やりたい仕事ができる可能性が見えなくて、魂が死んでしまいそうだった自分に重なって、私もチャレンジしてみよう！と背中を押されたのです。

3. やりがい、醍醐味

名もなき人たちの一生懸命な人生の営みに光を当て、それを世に伝えられることが、ライターという仕事の醍醐味だと思います。15年ぐらい前に、私が「ともに学び、ともに育つ」教育の分野の取材を始めたのは、そこで豊かな価値のある実践が行われていて、おもしろいことがいっぱい起こっているの

に、その場に「伝える」人がいないと感じたからです。当事者の障害のある子どもや若者は、世間一般の人たちにわかりやすく伝わるようなコミュニケーションをしない人が多いし、その保護者も、子どもをサポートしながらの生活で余裕がなく、また、人前で話すことや文章を書くことが得意でなかったりするので、当事者や保護者が自ら発信するのは、なかなか難しい。教師も日々の現場の実践で精いっぱい、それを発信することまでは手が回らない。ここは、「伝える」技術をもつライターの出番だと思いました。それから、「ともに学び、ともに育つ」教育を進める運動のさまざまな集まりに顔を出して、その運動にも加わりながら、つながることのできた障害当事者、保護者、教師・教師OBらのお話を聴いてきました。取材の成果を発信するために、2013年から、自主出版で雑誌『ともにまなぶ ともにいきる』を発刊しました。フリーランスである私には、自分の書いた記事を発表できるメディアがなかったもので、ないのなら、自分でつくれば良いと考えるのです。

こうして、地域で「ともに学び、ともに育つ」ことを願って生きてきた、障害当事者と保護者の生きかたを発信してきましたが、取材させていただいた方々からは「よく書いてくれた」と喜んでいただけることが多く、掲載誌をたくさん購入して知人に配ってくださった方もいらっしゃいます。そんなとき、「伝える」役割を果たすことができたなあと、やりがいを感じます。

4. 大切にしていること

ことばを使うプロとして、文章を書くときも、ふだんの会話においても、ことばの選び方を大切にしています。それは、一人ひとりの人の尊厳を守りたいというこだわりです。たとえば、障害のある人や認知症のある人の行動に対して、「暴れる」という言い方がされることがありますが、そうした意図的な暴力を振るっているかのような表現は事実として正しくなく、その人をおとしめることになると思うので、私はできるだけ使いません。「ことばで伝えられない思いを身体で表現する」とか、「自分の意思を聴いてもらえないことに抵抗する」とか、「行動のコントロールがしづらくなって不安定になる」とか、そういう言い方をするようにしています。また、政治家が、市民の生活を守るという政治の本来の役割に逆行するような振る舞いをしたとき、「狂ってる」と言って批判されることがありますが、この「狂ってる」というのは精神疾患のある状態を指して使われてきたことばです。それを言うことが批判することになるのなら、それは精神障害のある人たちに対する差別だと思うので、私は、このことばを批判的な意味では使いません。



障害のある子どもの高校進学を考える
学習会で、現役高校生にインタビュー

5. 今の仕事に関わる前と関わってから自分自身の中で変わったこと

フリーランスになって、「ともに学び、ともに育つ」教育の分野の取材にどっぷり取り組めたことから、障害のある人もない人も「ともに生きる」社会のイメージを確かに持てるようになったこと。それが、自分自身の中で変わったことでしょうか。「ともに学び、ともに育つ」教育が実践されている教室

では、子どもたちは、障害のあるなしに関わりなく、同じクラスメイトとして普通につきあっています。『ともにまなぶ ともにいきる』第3号で取材した、人工呼吸器ユーザーの子どもが学んでいた箕面市の小学校では、ことばを発さず、身体もほとんど動かないその子と、周りの子どもたちはごく自然にコミュニケーションをとっていたし、その子がいま何を考えているかも理解していました。その子が校内を移動するときは、エレベーターのボタンを押して待っていたり、車いすのブレーキをかけたりするのも、子どもたちは進んでやっていました。体育で球技の試合をするときは、その子もいっしょに参加できるように、子どもたちどうしで話し合い、独自のルールを考え出していました。そして、大切なことだと思ったのは、その子に「してあげる」だけでなく、気持ちが落ち込んでいる子どもがその子に話を聞いてもらって元気になったりとか、係活動でその子ができるものをみんなで考えて、「〇〇係」としてクラスの中で役割を果たしてもらったりとか、その子から「してもらおう」関係も生まれていたことです。こうした子どもたちの関係が、どこでもあたりまえの風景になって、学校の外にも広がっていけば、それが「ともに生きる社会」の基になっていくだろうと、私は確信しています。



2013年から発行している自主出版雑誌『ともにまなぶ ともにいきる』

6. 続けられている理由

フリーランスとして20年近く生きてきて、私のような「小さい商売」がもつ価値に気づいたことが、続けられている理由のひとつかと思えます。私は、多数者の人たちよりも少し多めのサポートを必要とする妻とともに暮らしてきましたが、この生活は、主に自宅で仕事ができ、時間に融通がきくフリーランスだから成り立っています。私のように家族のケアや育児と両立しながらでも、また、障害や病気があっても、他人とうまく話せなくても、組織に順応できなくても、できることに偏りがあっても、おのれの才覚と人とのつながりによって、細々とでも生きていけるのが、「小さい商売」です。大きい企業における障害者雇用やダイバーシティの取り組みも大切ですが、やっぱり、個性あるさまざまな「小さい商売」がいっぱいあるまちこそが、いろんな人たちが「ともに生きる」社会につながっていくのではないのでしょうか。だから、同じく「小さい商売」である個人事業主や一人親方、家族経営のお店などともに、このまちで生き抜いていきたいと、いま、強く思っています。そして、「小さい商売」をつぶそうとしている消費税のインボイス制度には、断固反対します。

7. 座右の銘

「誰もいないから そこを歩く」

これは、高校時代から聴き続けている海援隊（武田鉄矢・中牟田俊男・千葉和臣）の、私が大好きな曲のタイトルです。その歌詞は「誰もいないから そこを歩く／それがお前の 生き方なんだよ」と結ばれています。この曲のメッセージに、私はいつも勇気ももらってきました。

無人駅調査(近鉄南大阪線)!

① 調査日:2024年6月18日(火)

【近鉄南大阪線】

・調査した駅…恵我ノ荘駅

・調査者…電動車椅子ユーザー(ヘルパーつき)

○恵我ノ荘駅→始発～9:30、17:30～終電が無人時間帯です。

○高鷲駅→始発～13:30、17:30～終電が無人時間帯です。

河内松原駅と藤井寺駅でスロープ対応してくれると恵我ノ荘駅と高鷲駅の駅員が言っていました。

○調査してみて気づいた点、困った点

改札口とホームのスロープの傾斜が急なので滑らかな傾斜のスロープにすると通しやすいのではと感じました。また、郊外の駅はエレベーターがあるもののホームがガタガタしていたりするイメージがあります。しかしながら、恵我ノ荘駅と高鷲駅は段差がないのでベビーカーや車椅子に優しい設計になっていると感じました。



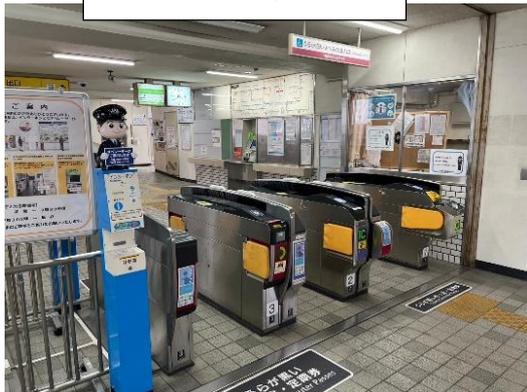
恵我ノ荘駅駅構内



高鷲駅 駅構内



北田辺駅 構内図



② 調査日:2024年6月25日(火)

【近鉄南大阪線】

・調査した駅…針中野駅、北田辺駅

・調査者…電動車椅子ユーザー(ヘルパーつき)

○針中野駅→始発～9:30、17:30～終電が無人時間帯です。

○北田辺駅→始発～9:30、17:30～終電が無人時間帯です。

北田辺駅ご案内→駅不在の場合は、インターホンにてオペレーターが対応いたします。

今川駅から駅員が電車に乗り、スロープを持参してもらう。

前もって電車に乗る前に、連絡しておくのと好ましいと駅員さんから言われました。しかし、事前連絡しなくても駅員がいつでもいてくれると乗りたい電車に乗れるので、無人駅を増やすのではなく有人駅を増やしてほしいです！

○調査してみて気づいた点、困った点

針中野駅～北田辺駅乗る際に、電車2本待たされました。結局、ナビに戻るのが遅れました。理由がなく待たされたのでなんで？という疑問があって、説明を駅員に求めたらよかったのではないかと思います。また、駅員を呼ぶインターホン位置が高くて、中には押しにくい障害者がいると思います。

今川駅地上エレベーター



○今川駅のインターホンを実際に体験してみました。

インターホンの下のボタンを車椅子のフットレストで押してみました。しかし、足で押せる構造だが高さが足りず、反応しなかったのでアテンダントさんが代わりに足で押してくれました。

すると、改札の駅員につながり、「エレベーターで上がってきてください」と言われ、改札まで行きました。

調査をして思ったのは、意外と上記の赤丸で囲っているインターホンはボタンの真ん中を押さないと反応しないことがわかり、なにかもったいない機能だなと思ったので足で押すインターホンがどこを押しても反応するように改良してほしいです。

おすすめのお店紹介します！

さんきゅう水産 近鉄針中野店

住所：大阪市東住吉区駒川5-25-11 近鉄高架下N-8号

営業時間：11:00～21:30 ラストオーダー21:15

定休日：元旦

電話番号：06-6693-3900

調査者：電動車椅子ユーザー（ヘルパーつき、全介助あり）

今回は、平成31年（2019年）2月にオープンした針中野駅北側の高架下にある、お寿司屋のさんきゅう水産近鉄針中野店について紹介します。

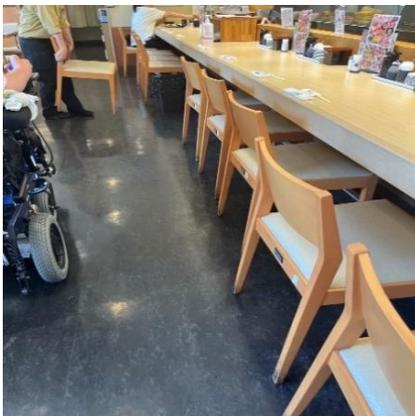


お店の外観

上にごりセット

座席については、テーブル席が7席、カウンター席が10席（椅子を動かせる）あるので、テーブル席に車椅子ユーザーが入る際は、通路側の座席がないところになる。

カウンター席については、すべての座席が空いていれば車椅子5台は入れる。



店内は、車いすが回転できるほど広いです。椅子は動かせるので、車いすのまま入りやすい。

店内に車いす対応トイレがないので、針中野駅のトイレを借りたほうが良い。

おすすめのお店紹介します！PART2

どうふく ちゅうか はんてん
同福 中華飯店

じゅうしょ おおさかし ひがしすみよしこまがわ ちようめ
住所：大阪市東住吉区駒川5丁目14-2

えいぎょうじかん げつようび にちようび
営業時間：月曜日～日曜日 11:00～21:00

でんわばんごう
電話番号：080-9409-2361

ちようさしや でんどうくるまいす
調査者：電動車椅子ユーザー（ヘルパーつき、全介助あり）

こんかい はりなかのえきしゅうへん ちゅうかりょうりてん ちようさ
今回は、針中野駅周辺の中華料理店の調査ということで、駒川商店街の路地にある「同福 中華飯店」を紹介します。

こちらの店は、本格北京料理のお店でした。美味しくいただきました。



みせ がいかん
お店の外観



べきん めん
北京ジャージャン麺

ざせき せき せき せき せき
座席については、テーブル席が5席、カウンター席がありませんでした。店内の広さは、車いすです通ってみて通りやすかったです。

くるまいす とき いどう すわ
車椅子のまま、テーブルにつく時はテーブルを移動させてもらうと座りやすくなります。

てんぽう いぐち せま くるまいす はば ちゅうい
店舗の入り口が狭いので、車椅子の幅に注意してください。



平野工営所の人たちと歩道の段差体験

みなさん、こんにちは。段差戦隊ジメンジャー（歩道と車道の段差解消にむけて取り組んでいる。NPO法人ちゅうぶ内のグループ）からの報告です。毎年、大阪市建設局平野工営所の人と、主に東住吉区内の歩道の段差解消にむけてお話をさせていただいています。話し合いでは、日頃、車いすユーザーが歩道に段差があり、衝撃を受けて、首が痛くなったり転倒する危険があるという体験談をお話させていただきました。



私たちが日頃困っている段差を平野工営所の人に車いすに乗ってもらって体験してもらいました。今回、平野公営所の方から、車いすに乗って段差を体験し身体に衝撃を受けるということが、わかりました。可能な限り段差解消にむけて取り組んでいきたいとお話してくれました。



①大阪メトロ谷町線田辺駅前



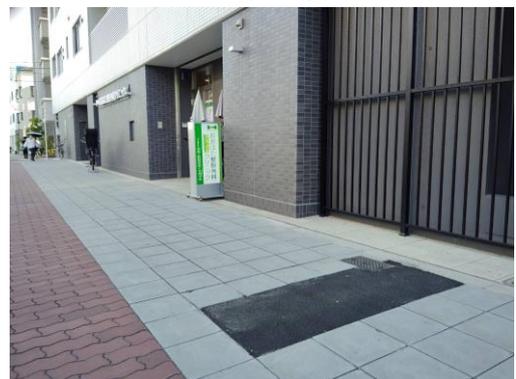
②セブンイレブン北田辺5丁目店前



①と②両方とも3cmあった段差をスロープ状に改善してくれました。

山下が、かかりつけで行っている整形外科クリニックの院長先生がクリニックの前の歩道のアスファルトがガタガタになっていて通行する時に危険だからということで、平野工営所に連絡をしたら「すぐに直してくれたので助かりました。」とお話ししてくれました。山下から改めて平野工営所に連絡をしました。

●平野工営所担当者の話
最近、すごく暑い日が続いているので(1日2日暑さが続いてもどうってことない)、暑さでアスファルトが、もりあがってしまって歩道がガタガタになったんだと思います。また、通りにくい歩道などあれば連絡ください。



平野工営所の人には、いつも素早く対応していただきありがとうございます。今後とも連携していきながら、誰もが安心して通行できる歩道に変えていきたいと思っています。

あたら

新しくセブンイレブンがオープンしました！

2024年7月に大阪市東住吉区北田辺にオープンしたセブンイレブンへ行ってきました。

調査者：手動車いすユーザー1名

調査場所：セブンイレブン 北田辺5丁目店

住所：〒546-0043 大阪府大阪市東住吉区北田辺5-11-17

電話番号：06-6622-6722

営業時間：24時間営業



車いす対応駐車場も1台分ありました。

店の外にインターホンがあり「お手伝いが必要な方は、このインターホンで従業員をお呼びください。」と書かれていました。従業員に、どんなことを手伝ってくれるのか聞いてみると「高いところにある商品を取ったりさせていただきます。」とのことでした。主に、車いすユーザーに配慮して設置したのかなと思いました。インターホンの近くには点字ブロックがありますが、視覚障害者は、ここに点字ブロックやインターホンがあるということがわからないので、音声案内があればわかりやすいと感じました。また、聴覚障害者は、従業員が話していることが聞こえません。なので、モニター付きのインターホンでモニター越しに筆談や手話をしてくれたら話が通じやすくなると思いました。改めて、セブンイレブンのお客様相談センターに問い合わせをしたところ、すべての店舗に設置してあるわけではなく、各店舗の責任者の判断で設置していると言っていました。



かぎ
つか
使いやすい
形状です



店内は広く通路幅も車いす
とお
が通れる幅は確保されてい
ました。

バリアフリートイレも

1か所設置されていました。

